

河川管理の実情と対策は

県と連携を密にし 適切な維持管理に努める



木村 洋子 議員
(日本共産党)

一般質問

災害公営住宅

自治会設立への関わりは

積極的に取り組んでいく

問 災害公営住宅移行後の被災者支援として、自治会の設立はコミュニティの構築や孤独死を防ぐ対策として重要な位置付けになると考える。自治会設立に当たっての集会所での必要物品（パソコンや椅子など）や、役員を選出、総会の持ち

町長 災害公営住宅移行後のコミュニティの構築は、非常に重要であると考えている。自治会などの設立に関しては、県や

方、運営上の相談事の支援など、町としても積極的に関わってほしいが、どのように対応していくのか。

社会福祉協議会と連携し、今後も「被災者支援総合交付金」を活用しながら積極的に取り組んでいく。29年度に向けて「コミュニティ対策部署」の新設も検討している。自治会などの設立・運営は、住民が主体となることが大事である。住民同士が協調・連携して運営できる組織になるよう円滑なスタートを支援していく。

問 台風10号により町内の大小河川では、流された土砂により川底が上がったり、堤防が破壊された箇所がある。今後、大きな被害が生じないように適切なしゅんせつと河川管理が必要と考えるが、どのようにしていくのか。

佐藤町長 台風により被害を受けた箇所は、災害復旧事業により対応していく。損傷している構造物の補修と堆積土砂の撤去などを行い、適切な維持管理に努める。

問 関口川の近くに新築の家が建ち並んでいる。関口川のしゅんせつは来シーズンの台風までに間に合うのか。

川守田建設課長 関口川の堆積土砂の撤去は、県

に要望を続けている。

問 豊間根川の堤防に大きな穴が開いている。県や町も把握していないか。たようだが、道路パトロールの仕方に問題があるのでは。

建設課長 道路パトロールの際、どうしても気付かない部分があったと認識している。県と連携を取りながら進めていく。

問 今回の台風襲来以前より損壊していた馬指野川の堤防の点検や周辺住民への周知および県との連携はどうなっていたか。

町長 河川護岸の損傷が進んでいる箇所として馬指野川を把握しており、県に情報提供していたが、地域住民への周知は行われていない。当該箇所は、29年度に事業着手するとの県の回答である。



台風10号で被害を受けた堤防（豊間根地区）

その他の質問

◆大浦保育園廃止による児童や保護者の負担軽減策は